

第 43 回山口県学校環境衛生研究大会 報告

大会実行委員長 河田 尚己
大会副実行委員長 小林 晃子

第 43 回山口県学校環境衛生研究大会を 7 月 25 日（木）、山口県総合保健会館にて開催いたしました。

県内の幼稚園・小中高の校長・養護教諭・栄養教諭の学校関係者、健康福祉センター・教育委員会の県職員、学校薬剤師が参加。また、日本薬剤師会常務理事・日本学校薬剤師部会部会長の村松章伊先生をはじめ、山口東京理科大学薬学部長の武田健先生、県外からは、愛知県学校薬剤師会から木全勝彦先生の参加、そして助言もいただきました。

前回から、研究協議会を午前と午後 2 回に分けました。学校現場での実践発表、学校環境衛生検査の基礎の発表もあり、今後の学校薬剤師業務の参考になる発表がたくさんありました。



第 1 課題

「学校環境衛生、保健委員会、薬品管理」
～よりよい学校環境をめざした組織活動について～

第 2 課題

「給食」
～安全・安心な食品の選定と衛生管理～

第 3 課題

「喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育、くすり教育」
～薬物乱用防止とくすり教育の進め方について～

第 4 課題

「水質・プール」
～飲料水およびプールの衛生管理について～

第 1 課題では、養護教諭の声に応えての Q&A、手洗い・うがいの習慣、理科薬品の管理について、第 2 課題で給食室、配送校の衛生管理について、第 3 課題では、小学校での薬物乱用防止教室の実践、くすり教育の進め方、第 4 課題では、学校プールの衛生的管理、飲料水に関する Q&A についての発表があり、協議しました。



特別講演

『PM2.5 及びナノ粒子が健康に及ぼす影響の研究から展望した予防医療』

山陽小野田市立山口東京理科大学 薬学部 学部長
武田 健 先生

最後に県民公開講座として山口東京理科大学の武田健先生をお招きして、特別講演を賜りました。PM2.5 やナノ粒子が子供



たちにどのような悪影響を及ぼすのかを非常にわかりやすく丁寧に解説していただきました。武田先生の優しい口調から伝わる内容は多くの県民の方に満足いただける講演となりました。

毎年、平日開催となり、学校薬剤師にとっては参加しがたい日程となっておりますが、学校薬剤師として活動していく上でとても参考になる発表ばかりです。今後の皆様のご参加をお待ちしております。各協議会の報告は「山口県学校薬剤師会」のホームページをご参照ください。

【参加者】

特別講演… 135名

第1課題… 76名

第2課題… 37名

第3課題… 54名

第4課題… 46名

